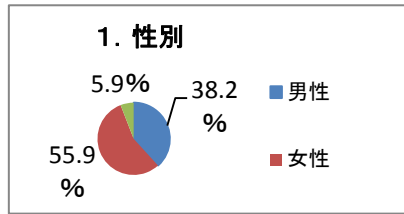


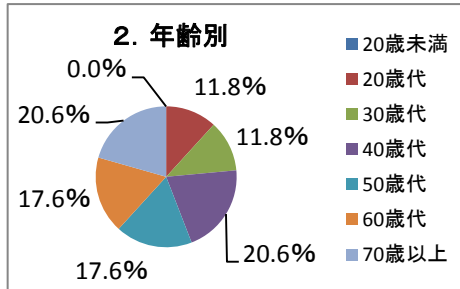
第1回 鳴門市女性活躍推進 事業所セミナー

平成27年8月26日(水)実施
鳴門市消防本部3F会議室
午後6時30分～8時30分

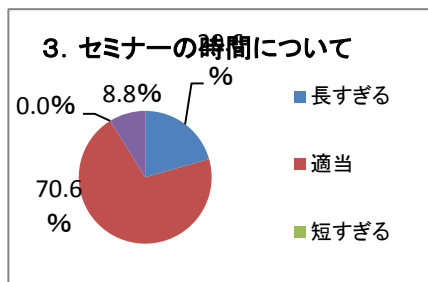
	参加人数	構成比
1. 性別		
男性	13人	38.2%
女性	19人	55.9%
無記入・不明	2人	5.9%
合計	34人	100.0%



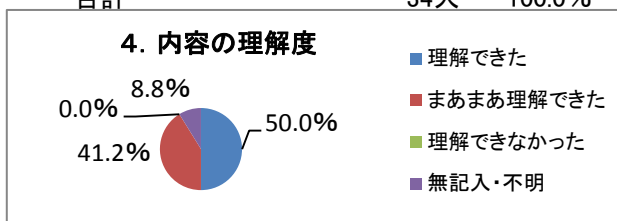
	参加人数	構成比
2. 年齢		
20歳未満	0人	0.0%
20歳代	4人	11.8%
30歳代	4人	11.8%
40歳代	7人	20.6%
50歳代	6人	17.6%
60歳代	6人	17.6%
70歳以上	7人	20.6%
合計	34人	100.0%



	参加人数	構成比
3. セミナーの時間について		
長すぎる	7人	20.6%
適当	24人	70.6%
短すぎる	0人	0.0%
無記入・不明	3人	8.8%
合計	34人	100.0%



	参加人数	構成比
4. 内容の理解度は		
理解できた	17人	50.0%
まあまあ理解できた	14人	41.2%
理解できなかった	0人	0.0%
無記入・不明	3人	8.8%
合計	34人	100.0%



【参加者数】70名

(うちアンケート有効回収数: 34)

◆性別については、38.2%が男性、55.9%が女性であった。

◆年齢別では、40歳代と70歳以上がともに20.6%でもっとも多く、ついで50歳代、60歳代がともに17.6%で、約7割を占めた。

普段のセミナーとは違い、20歳代、30歳代もそれぞれ11.8%を占めた。

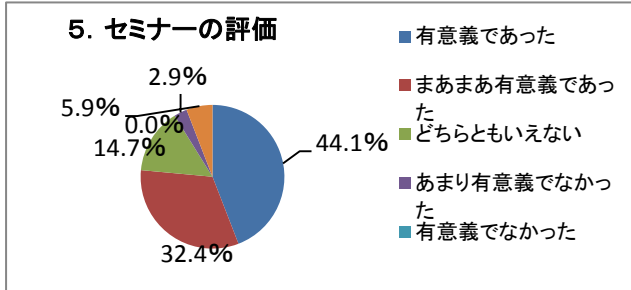
◆セミナーの時間については、「適当」であったとの回答が70.6%と高く、比較的内容との時間がよかったと考えられる。

「長すぎる」と感じた人も全体の20.6%いた。

◆講演内容の理解については、「理解できた(50.0%)」「まあまあ理解できた(41.2%)」と、全体的に理解を得られている。

5. セミナーの評価はどうか(5段階評価)

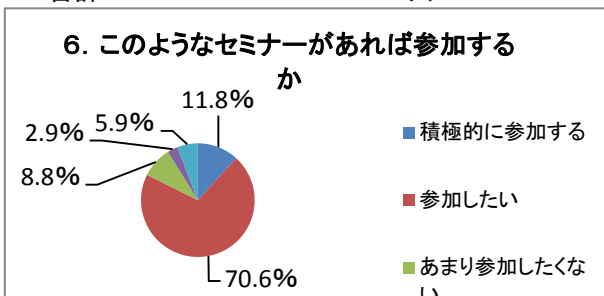
有意義であった	15人	44.1%
まあまあ有意義であった	11人	32.4%
どちらともいえない	5人	14.7%
あまり有意義でなかった	1人	2.9%
有意義でなかった	0人	0.0%
無記入・不明	2人	5.9%
合計	34人	100.0%



◆セミナーの評価としては、「有意義であった(44.1%)」、「まあまあ有意義であった(32.4%)」と全体の76.5%であり、概ね有意義であったと考えられる。

6. 今後もこのようなセミナーがあれば参加するか

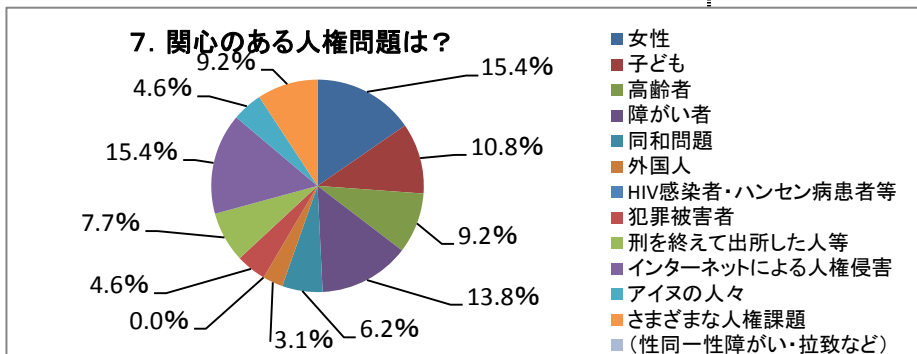
積極的に参加する	4人	11.8%
参加したい	24人	70.6%
あまり参加したくない	3人	8.8%
参加しない	1人	2.9%
無記入・不明	2人	5.9%
合計	34人	100.0%



◆今後このようなセミナーがあれば「積極的に参加する(11.8%)」、「参加したい(70.6%)」が82.4%と、参加への意欲は高いと考えられる。

7. あなたが関心を持つ人権問題は？(複数回答)

ア 女性	10人	15.4%
イ 子ども	7人	10.8%
ウ 高齢者	6人	9.2%
エ 障がい者	9人	13.8%
オ 同和問題	4人	6.2%
カ 外国人	2人	3.1%
キ HIV感染者・ハンセン病患者等	0人	0.0%
ク 犯罪被害者	3人	4.6%
ケ 刑を終えて出所した人等	5人	7.7%
コ インターネットによる人権侵害	10人	15.4%
サ アイヌの人々	3人	4.6%
シ さまざまな人権課題 (性同一性障がい・拉致など)	6人	9.2%
合計(複数回答)	65人	100.0%



◆一応に、何らかの人権への関心や意識はある。

なかでも、現代社会において、ニュース等でも問題になっている「インターネットによる人権侵害」や、女性活躍推進法の成立による「女性」への関心が高い(15.4%)。

社会通念上、弱者といわれる「障害者」が13.8%、「子ども」が10.8%となっている。

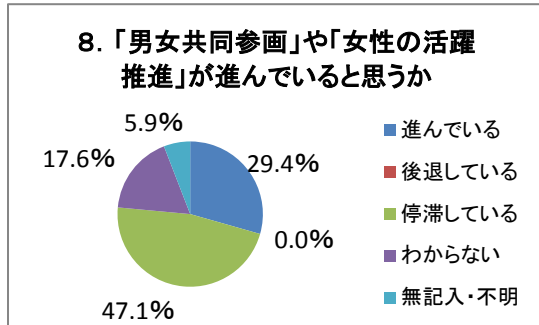
また、「高齢者」「さまざまな人権課題」が9.2%となっている。

日常生活における人権問題が多くを占めている。

8. あなたは「男女共同参画」や「女性活躍の推進」が進んでいると思いますか？

ア 進んでいる	10人	29.4%
イ 後退している	0人	0.0%
ウ 停滞している	16人	47.1%
エ わからない	6人	17.6%
無記入・不明	2人	5.9%
	34人	94.1%

◆男女共同参画や女性活躍の推進が進んでいるかについては、「停滞している」が47.1%で最も高く、「進んでいる」は29.4%、「わからない」という意見も17.6%あった。



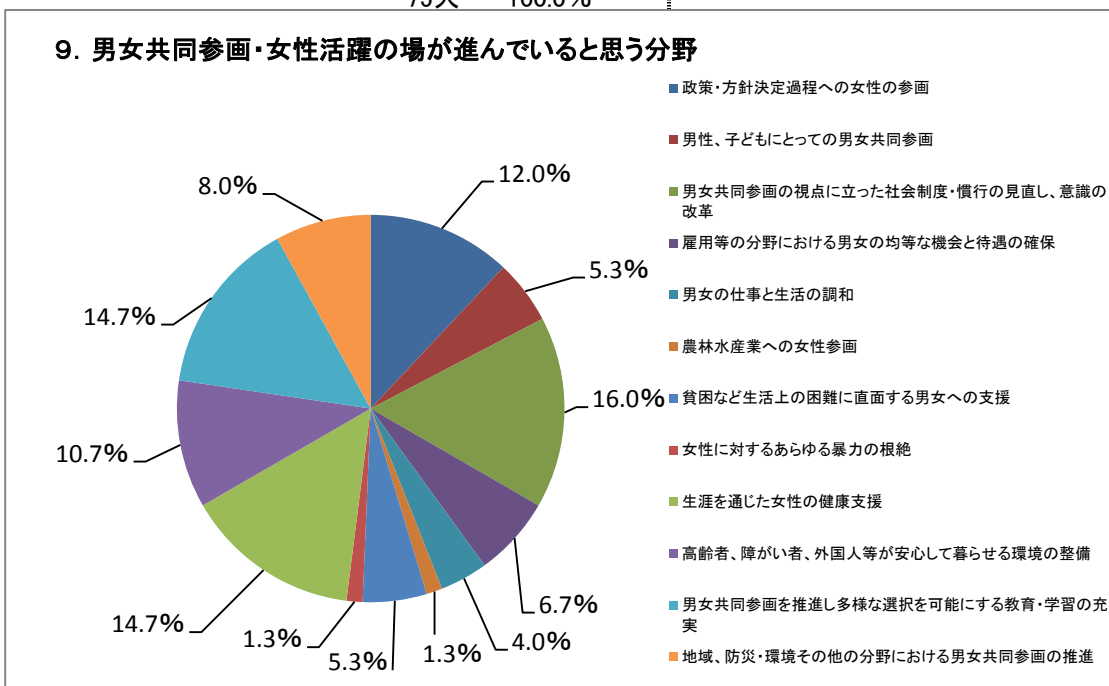
9. どの分野で「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいると思うか？（3つ回答）

ア 政策・方針決定過程への女性の参画	9人	12.0%
イ 男性、子どもにとっての男女共同参画	4人	5.3%
ウ 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革	12人	16.0%
エ 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	5人	6.7%
オ 男女の仕事と生活の調和	3人	4.0%
カ 農林水産業への女性参画	1人	1.3%
キ 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	4人	5.3%
ク 女性に対するあらゆる暴力の根絶	1人	1.3%
ケ 生涯を通じた女性の健康支援 高齢者、障がい者、外国人 等が安心して暮らせる環境 の整備	11人	14.7%
コ 男女共同参画を推進し多様な 選択を可能にする教育・学 習の充実	8人	10.7%
サ 地域、防災・環境その他の 分野における男女共同参画 の推進	11人	14.7%
シ	6人	8.0%
	75人	100.0%

◆どの分野において男女共同参画や女性活躍の場があるかについては、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革」が16.0%と最も多く、ついで「生涯を通じた女性の健康支援」「男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実」が14.7%と高かった。

そのほか、「政策・方針決定過程への女性の参画(12.0%)」、「高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備(10.7%)」の回答があった。

一方で、「農林水産業への女性参画」「女性に対するあらゆる暴力の根絶」が1.3%と低かった。



10. 「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいない・後退している分野は？（3つ回答）

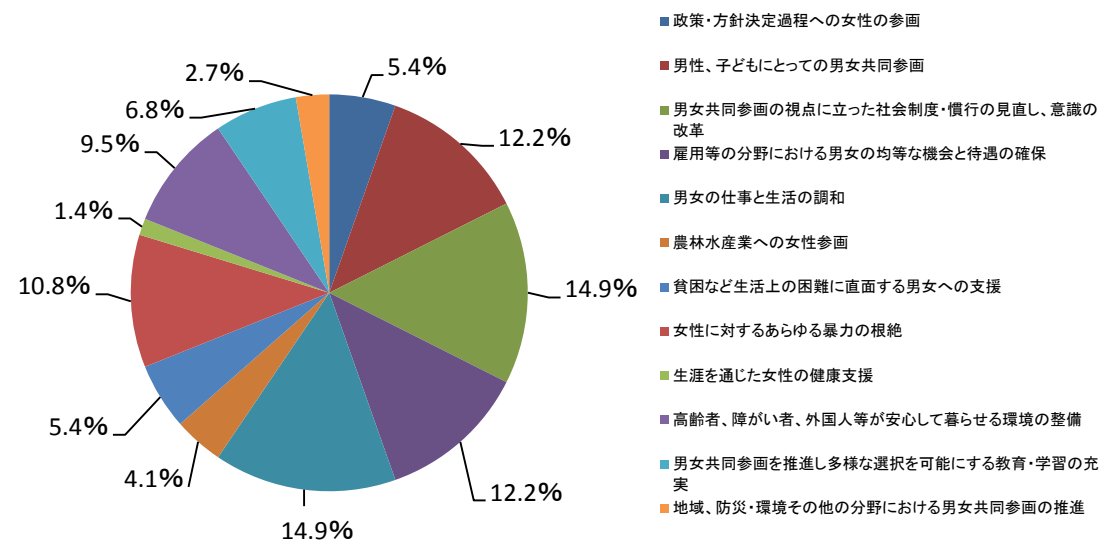
ア	政策・方針決定過程への女性の参画	4人	5.4%
イ	男性、子どもにとっての男女共同参画	9人	12.2%
ウ	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革	11人	14.9%
エ	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	9人	12.2%
オ	男女の仕事と生活の調和	11人	14.9%
カ	農林水産業への女性参画	3人	4.1%
キ	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	4人	5.4%
ク	女性に対するあらゆる暴力の根絶	8人	10.8%
ケ	生涯を通じた女性の健康支援	1人	1.4%
コ	高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	7人	9.5%
サ	男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	5人	6.8%
シ	地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進	2人	2.7%
		74人	100.0%

◆どの分野において進んでいないかでは、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革」「男女の仕事と生活の調和」がともに14.9%と高くなっている。

「男性、子どもにとっての男女共同参画」、「雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保」が12.2%であった。

そのほか、「生涯を通じた女性の健康支援」が1.4%、「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」が2.7%と低く、この分野においては進んでいると考えられる。

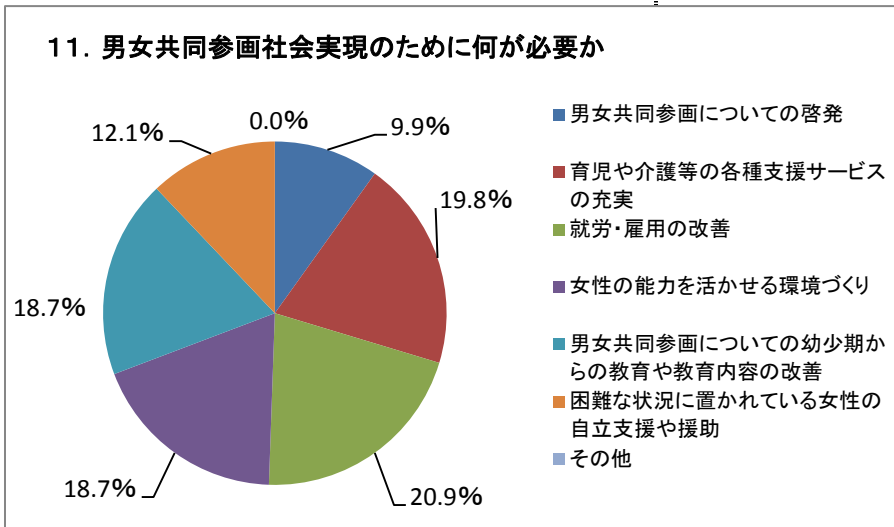
10. 男女共同参画・女性活躍の場が進んでいないと思う分野



11. 男女共同参画社会実現のためにどのような施策・事業が必要か？

ア	男女共同参画についての啓発	9人	9.9%
イ	育児や介護等の各種支援サービスの充実	18人	19.8%
ウ	就労・雇用の改善	19人	20.9%
エ	女性の能力を活かせる環境づくり	17人	18.7%
オ	男女共同参画についての幼少期からの教育や教育内容の改善	17人	18.7%
カ	困難な状況に置かれている女性の自立支援や援助	11人	12.1%
キ	その他	0人	0.0%
		91人	100.0%

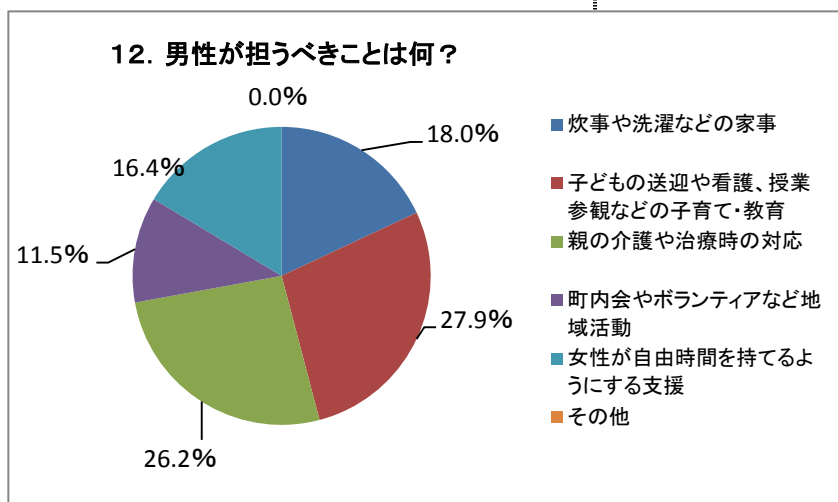
◆男女共同参画社会実現に何が必要かについては、「就労・雇用の改善(20.9%)」、「育児や介護等の各種支援サービスの充実(19.8%)」、「女性の能力を活かせる環境づくり(18.7%)」、「男女共同参画についての幼少期からの教育や教育内容の改善(18.7%)」、「困難な状況に置かれている女性の自立支援や援助(12.1%)」がほぼ全てにおいて同じように必要であると考えられている。



12. 家庭生活の中で、男性がもっと担うべきことは何ですか？(2つ回答)

ア	炊事や洗濯などの家事	11人	18.0%
イ	子どもの送迎や看護、授業参観などの子育て・教育	17人	27.9%
ウ	親の介護や治療時の対応	16人	26.2%
エ	町内会やボランティアなど地域活動	7人	11.5%
オ	女性が自由時間を持てるようにする支援	10人	16.4%
カ	その他	0人	0.0%
		61人	100.0%

◆家庭生活の中で、男性がもっと担うべきこととしては、「子どもの送迎や看護、授業参観などの子育て・教育」が27.9%と最も多い。ついで「親の介護や治療時の対応」が26.2%、「炊事や洗濯などの家事」が18.0%、「女性が自由時間を持てるようにする支援」が16.4%と続き、男性の家庭生活への協力が必要と考えている。



【自由意見】

- 女性の自立は自身の努力で進んでいくと考えます
- 参考になりました
- すごく楽しかったです。生き方がカッコいいです
- 質疑応答形式にしてほしい！！
- 私の年齢では拝聴していてもあまり興味深くは感じなかった。もっと若い世代の人達が対象かな？と思いました。内容に関して反対意見を持つたりはしませんが、全体的に損得感を主張しているような印象でした。男女共同参画について…とは感じなかった。最後のパートナー藤谷さんの話の方が興味深かった。
- 出産時の父親(フランス)が父、フランス人の考え方がステキです
「男も女も仕事と家事」日本もあたりまえになればよい。なるべきです。
- 日本の民法は昔に作ったままというのが多い。また、それを改めるというのもなかなかできない気がする。時代に合わせた法制度の整備が必要であると思う。
人それぞれの考えがあり、生き方がある。日本は保守的であり、ある意味「覚悟」が必要であると思う。
- フランスに移住すればどうですか！
- 30年早く生まれてきてしまいました。
先生のご意見に感動し、同じ考えを持っていたけど知識なくあきらめてしまいました